

岩槻新校基本計画骨子（案）修正一覽

	第2回委員会骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
学科等	普通科 <u>国際探究科</u>	<u>国際教養科</u>	<ul style="list-style-type: none"> ●「探究」は難しいイメージがある。もう少し具体的な、誰が見ても分かるようなネーミングもあり。 ●「探究」が付くと気難しいイメージで中学生はけん制するのではないか。 ●こういう勉強をするのかというイメージが湧くような学科の名前にした方が良い。 ○国際教養科という発想はないか。 ○この学科でどんな力を身に付けられるのかを考えると「探究」より「教養」の方が相応しい。 ○国際に関する学科のみに「探究」が入っていると、普通科では「探究」活動をしないと誤解が生じる。 ○外国語にしたときに分かりやすい学科名の方が良い。
学校規模 (1学年当たり)	320人(8) 普通科 280人(7) <u>国際探究科</u> 40人(1)	<u>国際教養科</u>	<ul style="list-style-type: none"> ●国際探究科のクラス数を増やすのもあり。少数科なので応募しづらいということもあると思う。 ●国際探究科の比率をもう少し上げた方が良い。皆がそこに行きたいと思ってもらえるようなPR、施策を考える方が優先。 ●学校規模の8クラスは妥当。 ●岩槻高校に国際文化科が設置された当初は2クラス。最初は生徒が集まったが、その後なかなか人が集まらなくなり、一時期、国際文化科も全て普通科にしようとして議論したこともあったようだ。

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
基本理念	目指す学校	<p>ア 地域の伝統産業等を生かした協働的・探究的な学びを通して新しい時代に求められる資質・能力を育成し、生徒一人一人の自己実現を目指す学校</p> <p>イ 自国の伝統、文化を理解するとともに、国際感覚を身に付け、国際社会に貢献できる人材を育成する学校</p> <p>ウ 近隣の小・中学校や大学等との連携により、<u>キャリアパス</u>を見通した継続性のある創造的な学びを実践し、地域における学びの中心的役割を担う学校</p>	<p>イ 自国の伝統や文化を理解するとともに、国際感覚を身に付け、国際社会に貢献できる人材を育成する学校</p> <p>ウ 近隣の小・中学校や大学等との連携により、<u>将来</u>を見通した継続性のある創造的な学びを実践し、地域における学びの中心的役割を担う学校</p>	<p>●「キャリアパス」がどれくらい認識できるか不安。</p>
	育てたい生徒像	<p>ア 自国や郷土への理解を深め、その魅力を海外に広めるとともに、持てる力を生かして地域の課題解決に貢献できる生徒</p> <p>イ 豊かな国際感覚と語学力を備え、グローバルな視点で諸課題を考え解決に向けて行動するとともに、多様な価値観を受容できる生徒</p> <p>ウ 自ら考え、自ら学び、自ら行動し、積極的に他者と関わろうとする生徒</p> <p>エ 学校行事をはじめとする課外活動に積極的に取り組み、自主・自律の態度や豊かな情操を育もうとする生徒</p>	<p>イ 豊かな国際感覚や語学力などコミュニケーションに必要な力を備え、グローバルな視点で諸課題を考え解決に向けて行動するとともに、多様な価値観を受容できる生徒</p> <p>エ 学校行事をはじめとする課外活動に積極的に取り組み、自主・自律の態度や豊かな<u>心</u>を育もうとする生徒</p>	<p>○「豊かな国際感覚と語学力を備え」が表現として少し引かかる。基本理念として入れると普通科にも当てはまることになる。</p> <p>○育てたいのは語学力だけではない。「語学力」を「コミュニケーション能力」としてはいかがか。</p>

	第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
教育活動等の基本姿勢	新しい時代に求められる資質・能力の育成を目指し、社会に貢献できる人材を輩出するために、主体的・対話的で深い学びの視点から、学習内容の充実を図るとともに、 <u>地域との協働による探究的な学び</u> を実践する。	新しい時代に求められる資質・能力の育成を目指し、社会に貢献できる人材を輩出するために、主体的・対話的で深い学びの <u>視点から</u> 学習内容の充実を図るとともに、 <u>探究的な学習等を通じ、地域をはじめ多様な他者との協働的な学び</u> を実践する。	特になし

	第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
教科指導 基本方針	<p>ア グローバル人材の育成を目指し、<u>教科横断的な学び</u>を通して、国際感覚や語学力を育成する。</p> <p>イ ICTの活用を通して学びを深め、多面的・多角的な学習評価によって生徒が主体的に学びに向かう力を育む。</p> <p>ウ <u>地域と協働した探究的な学びの中で地域の特性や課題に関心を持たせるとともに</u>、SDGsなどの諸課題の解決に向けて取り組むための資質・能力を身に付けさせる。</p>	<p>ア グローバル人材の育成を目指し、<u>教科等横断的な学び</u>を通して、国際感覚や語学力を育成する。</p> <p>ウ <u>探究的な学びの中で地域の特性や課題への関心を高め</u>、SDGsなどの諸課題の解決に向けて取り組むための資質・能力を<u>育成する</u>。</p>	<p>●一部使役表現になっている。</p> <p>○「語学力」を「コミュニケーション能力」としてはいかがか。</p>

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
教科指導	具現化	ア 基礎・基本の徹底を図るとともに、教科・科目等の枠を超えた横断的な学びを推進し、遠隔学習やフィールドワークなど校内外での活動等の機会を積極的に取り入れる。		●「一人一台端末」は開校時にはもはや古い言葉になっているだろう。 ●「ルーブリック」は分かりやすい言葉に置き換えた方が良い。 ●教科全般にスポットを当ててではなく、SDGsの中身、17の開発目標の幅広い中身の方にスポットを当てた取組にしても良いのではないか。 ●全ての教科でSDGsに関わる取組を行うことは難しいのではないか。
		イ 英語の検定試験の受検を推奨し、英語4技能を向上させ、積極的に国際交流を図る。		
		ウ <u>一人一台端末を活用し</u> 、生徒にとって「わかる・できる」授業を展開することで、生徒の主体性を引き出し、学習改善を図る。	ウ <u>各教科においてICTを積極的に活用し</u> 、生徒にとって「わかる・できる」授業を展開することで、生徒の主体性を引き出し、学習改善を図る。	
		エ <u>教育活動の到達度評価にルーブリックを取り入れ</u> 、生徒の学習改善や教員の授業力向上を図る。	エ <u>教員間で学習評価の方法を十分に検討し</u> 、 <u>生徒に分かりやすく示すことで</u> 、 <u>生徒の学習意欲や教員の授業力向上につなげる</u> 。	
		オ 総合的な探究の時間を通して、地域の歴史や文化を学ぶとともに、 <u>すべての教科でSDGsに関わる取組</u> を行い、主体的・対話的で深い学びを実践する。	オ 総合的な探究の時間を通して、地域の歴史や文化を学ぶとともに、 <u>様々な機会を捉えてSDGsの実践を目指した</u> 取組を行い、主体的・対話的で深い学びを実践する。	
		カ 社会人に必要な思考力、判断力、表現力等の総合的な学力を育成するため、地域の大学・企業と連携した体験活動等を行う。	カ 社会人に必要な思考力、判断力、表現力等の総合的な学力を育成するため、地域の大学や企業と連携した体験活動等を行う。	

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委、○検討委)
生徒指導	基本方針	<p>ア <u>生徒理解に基づき多様な生徒に応じた指導を行い、規範意識を高め、生徒一人一人が自らの意志で社会に関わろうとする主体性を育む。</u></p> <p>イ 地域の教育力の活用や学校行事の充実を通して、自己肯定感や自己有用感等を高めるとともに、他者を<u>尊重する豊かな人間性を育む。</u></p> <p>ウ 健全な人間関係を構築できるように、悩み等を<u>適宜相談できる体制を整える。</u></p>	<p>ア <u>生徒一人一人の個性を踏まえた指導を通して、</u>規範意識を高め、<u>自らの</u>意志で社会に関わろうとする主体性を育む。</p> <p>イ 地域の教育力の活用や学校行事の充実を通して、自己肯定感や自己有用感等を高めるとともに、他者を<u>尊重する態度や豊かな人間性を育む。</u></p> <p>ウ 健全な人間関係<u>の構築を支援するため、相談体制を整える。</u></p>	<p>●「生徒理解」の意味が分からなかった。主語は生徒か教職員か。</p>
	具現化	<p>ア 多様な人々と協働していく中で、生徒が安心して発言し、失敗を恐れずに主体的に行動できるよう配慮した指導を行う。</p> <p>イ 学校と家庭の連携を図り、基本的な生活習慣や社会で必要なマナー・ルールを遵守する態度を育成する。</p> <p>ウ 地域のイベント企画やボランティア活動等へ積極的に参加し、貢献することで自己肯定感や自己有用感を高める。</p> <p>エ 様々な場面で自己決定の<u>場を与え</u>、規範意識や自己管理など生徒の自律的な行動を支援する。</p> <p>オ 教職員一人一人がカウンセリングマインドを身に付け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携するなど、組織的な教育相談体制を確立する。</p> <p>カ <u>人権課題</u>に対する正しい理解を深め、学校の教育活動全体を通じて<u>人間尊重</u>の精神を涵養する。</p>	<p>エ 様々な場面で自己決定の<u>機会を用意し</u>、規範意識や自己管理など生徒の自律的な行動を支援する。</p> <p>カ 人権<u>問題</u>に対する正しい理解を深め、学校の教育活動全体を通じて<u>人権</u>尊重の精神を涵養する。</p>	<p>特になし</p>

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
進路指導	基本方針	<p>ア 系統的なキャリア教育及び地域と連携した探究的な学びを通じて、自らの進路を主体的に選択することができるよう、組織的・計画的な進路指導を行う。</p> <p>イ 大学進学を中心に、生徒一人一人の進路希望に応じたきめ細かな指導を行うとともに、資格取得を奨励し、学習への動機づけを図る。</p> <p>ウ 大学や企業との連携に積極的に取り組み、望ましい勤労観、職業観を確立し、将来を見据えた進路実現を図る。</p>	<p>イ 大学進学を中心に、生徒一人一人の進路希望に応じたきめ細かな指導を行うとともに、資格取得を奨励し、学習への動機付_レけを図る。</p>	特になし
	具現化	<p>ア 多様な人材との交流等を通じ、生徒の学びと進路選択を見通しながら一人一人の目標を実現できるキャリア教育を計画的に実施する。</p> <p>イ 進路担当を中心に全教員が大学等入試制度の研究を進めるとともに、校内の各分掌等の緊密な連携を通して、<u>私立中堅大学から国公立大学まで対応した指導</u>を行う。</p> <p>ウ <u>英語に関わる各種資格</u>が取得できる体制を充実させ、<u>自らの進路実現</u>に向けた学習に結び付ける指導を図る。</p> <p>エ 大学等と連携した専門的な学習活動等を推進する。</p> <p>オ 地域及び関係諸団体と連携・協働したキャリア教育の充実を図る。</p>	<p>イ 進路担当を中心に教職員が大学等入試制度の研究を進めるとともに、校内の各分掌等の緊密な連携を通して、<u>生徒の進路希望に応じた指導</u>を行う。</p> <p>ウ <u>英語に関わる資格をはじめ、様々な資格</u>が取得できる体制を充実させ、<u>多様な進路実現</u>に向けた学習に結び付ける指導を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●他は「教職員」なのに具現化イだけ「全教員」となっている。 ●各種資格は英語に関わると限定しなくても良い。 ●多様な進路希望の実現に向けた指導をしていくという姿勢が、表現としてあった方が良い。 ○「中堅」という表現があることに違和感がある。 ○英語に関わらず様々な資格取得を目指した方が良いのではないか。

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
生徒募集	基本方針	<p>ア 小・中学生や保護者が関心を持てるよう、地域との協働による探究活動を実践する学校、進学を重視した文武両道の学校であることを広く浸透させる。</p> <p>イ 学校の特色や育てたい生徒像を踏まえ、目的意識が高く意欲のある生徒の募集に努める。</p> <p>ウ <u>さいたま市及び春日部市周辺等、広範囲に募集活動を行う。</u></p>	<p>ウ <u>地域における教育活動を積極的に行い、生徒の活動を通じ幅広く広報活動を行う。</u></p>	<p>● (学校規模に関する検討での御意見) 競争率が上がるような取組が必要。競争率が上がるような施策とか、PRの方法を考えた方が良い。</p>
	具現化	<p>ア <u>生徒の出身校訪問や生徒の活躍する場を近隣の小・中学校や市町村にも広げ</u>、生徒たちの姿を通して新校の魅力を発信する。</p> <p>イ <u>地元中学校と連携し、英語スピーチコンテストを実施する。また、地元の小学生に英会話を教える等の取組も行う。</u></p> <p>ウ 課外活動等での交流を通じて中学校の教職員に新校の特色を広め、「行きたい高校」への魅力づくりを行う。</p> <p>エ 学校の魅力を伝えるために、PR動画の作成、広報紙への掲載などを組み合わせ、県内の市町村教育委員会との連携を通して、効果的に情報を発信する。</p> <p>オ 入学者選抜において、学校の特色や育てたい生徒像を踏まえた選抜基準を設ける。</p>	<p>ア <u>出身校訪問や生徒の活躍する場を近隣の小・中学校や市町村にも広げるなど</u>、生徒たちの姿を通して新校の魅力を発信する。</p> <p>イ <u>地元中学校との連携や地元小学生との交流に積極的に取り組む。</u></p>	<p>○スピーチコンテストの開催は、主催はどのような形か。県が主催するのか、あるいは中学校側なのか。</p>

	第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
その他	<p>ア 外国につながる生徒に対する日本語指導を教育課程に組み入れるなど、地域のニーズに応じた教育活動を行う。</p> <p>イ 指導の充実を目的とした様々な研修を実施して、教職員の資質・能力の向上を図る。</p> <p>ウ 共生社会の実現に向けた学びの機会を設定し、多様な人々との協働を通して人権感覚の育成を図る。</p>	修正なし	○「外国につながる」という表現は少しぼかしすぎているのではないか。